

平成28年度第3回稲毛区支え合いのまち推進協議会 議事要旨

【開催】

- 1 日時 平成29年3月21日（火）10時00分～12時00分
- 2 場所 稲毛保健福祉センター 3階 大会議室
- 3 出席者 委員 28名中 21名出席
事務局 稲毛保健福祉センター 所長、高齢障害支援課2名
稲毛区地域振興課 地域づくり支援室長
保健福祉局地域福祉課 2名、介護保険課総合事業準備担当課長
社会福祉協議会稲毛区事務所 所長以下3名

【次第】

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 稲毛区支え合いのまち推進計画の平成28年度の取り組みについて
 - (2) 次期地域福祉計画の策定について
 - (3) 介護予防・日常生活支援総合事業について
 - (4) 支え合いのまち稲毛（稲毛区推進協だより）の発行について
 - (5) あんしんケアセンターの変更について
 - (6) その他
- 3 閉会

【議事要旨】

議題1 稲毛区支え合いのまち推進計画の平成28年度の取り組みについて

事務局から、稲毛区支え合いのまち推進計画の平成28年度の取り組みについて、重点取組項目及びすべての取組項目の取組状況の概要を資料により説明し、質疑応答を行った。

<主な質疑応答>

委員	すべての取組項目の取組状況について、地区部会エリアによっては、活動頻度や活動エリアが「把握できない」という項目が多くなっているが、どういうことか。
事務局	各地区部会エリアの活動状況については、各社会福祉協議会地区部会（以下「地区部会」という。）の役員から聴取し、作成した。 地区部会エリア内に非常に多くの自治会がある地区部会では、いきいきサロンや子育てサロン等のイベントの開催状況等は把握しやすいが、自治会単位での活動となると、自治会ごとに全容を把握するという事は難しい。 この調査は、今回が初めての調査であり、把握が難しい項目があるということが浮き彫りとなったため、どのように把握していくかが今後の課題と考えている。
委員	その課題については、社会福祉協議会地区部会と町内自治会連絡協議会の連携が密であれば、実態が把握できたのではないかと思う。

事務局	今後も、要支援者の見守り活動など、町内自治会単位で行う活動は増えていく。地区部会と町内自治会が連携を深めることができる体制づくりを考えていきたい。
委員	重点取組項目の達成状況の資料について、各地区部会の評価は、誰が行っているのか。
事務局	社会福祉協議会稲毛区事務所が地区部会の主な役員の話聞きながら、作成している。
委員	資料では「概ね目標を達成した」等となっているが、私の地区では実際にはそのような感じはしない。地域の各団体がそれぞれ取り組むのではなく、地域全体でともに取り組めるよう、主導する者が必要である。
事務局	今回のすべての取組項目調査で、把握できない、頻度が少ない活動があると判明したため、第4期計画を策定するにあたって、我々も地域の皆様も課題として捉えて取り組んでいく必要があると考えている。

議題2 次期地域福祉計画の策定について

事務局から、「支え合いのまち千葉 推進計画（第4期千葉市地域福祉計画）」の策定方針と骨子、及び「稲毛区支え合いのまち推進計画（第4期稲毛区地域福祉計画）」の策定スケジュールについて、資料により説明し、質疑応答を行った。

<主な質疑応答>

委員	資料に記載されている「第4期千葉市地域福祉計画のイメージ」の図について、「地域」を表す枠のなかで、「地域運営委員会」が「社協地区部会」や「町内自治会」より小さな扱いになっているが、「地域運営委員会」は「社協地区部会」や「町内自治会」「民生委員・児童委員協議会」など地域の諸団体を包含する団体であり、それらより大きな扱いになるのではないかと。
事務局	この図は、あくまで計画を推進するイメージであり、地域福祉活動の実際の担い手として、「社協地区部会」だけでなく、見守り活動等を行う「町内自治会」の役割が今後ますます求められるという意味で、この2団体を大きな扱いにした。 将来的には、地域運営委員会が多くの地域で設立されて、地域運営委員会により地域の諸問題が解決されていくと予想されるが、現状では市内で11地区、稲毛区では千草台中学校区の1地区にしか設立されていない。 そのため、第4期計画の取り組みを、地域運営委員会が主体となって進めることは困難であり、地区部会と町内自治会が連携し、中心となって取り組んでいくという意味でその2団体を大きな扱いにした。
委員	ともに支え合う地域社会をつくるという目標であるため、地区部会が地域のまとめ役となって地域の諸団体を集めて議論して目標を決めて推進していくべきではないか。何回も言っているけれども変わらない。

委 員	第4期計画のイメージ図にある「地域」も、実際の地域運営委員会も、地域の諸団体が構成されているが、「船頭多くして船山に登る。」と言われるように、まとめ役が必要であり、地区部会か町内自治会のどちらかがなるべきではないか。
事務局	現在の第3期計画においては、地区部会が中心となって、地域の諸団体と連携を図り、活動状況の把握と調整を行い、地区部会エリア内の取り組みを推進してきた。第4期計画においても同様であるが、町内自治会の役割がさらに重要になっているので、連携を深めていく必要がある。 地域運営委員会については、どの団体がイニシアチブをとるべきという決まりはなく、地域によって、イニシアチブをとる団体は異なると思われる。

議題3 介護予防・日常生活支援総合事業について

事務局から、平成26年度の介護保険法の改正に基づき平成29年4月から開始される介護予防・日常生活支援総合事業について、資料により説明し、質疑応答を行った。

<主な質疑応答>

委 員	町丁別及び町内自治会別の要介護認定者数は、市で把握しているのか。
事務局	町丁別の要介護認定者数は、千葉市介護保険課で把握しているので、介護保険課に照会してほしい。

議題4 支え合いのまち稲毛（稲毛区推進協だより）の発行について

事務局から、広報委員会において第22号の記事として、「第4期計画の策定の開始」、「稲毛区地域ケア会議」、「あんしんケアセンターの変更」を掲載することを決定し、資料のとおり平成29年4月に発行する予定であることを説明した。また、第23号で掲載してほしい記事があれば、事務局に連絡するよう依頼した。

特に意見なく、推進協だよりの発行について、案のとおり承認された。

議題5 あんしんケアセンターの変更について

事務局から、平成29年4月からあんしんケアセンターの変更（増設等）が予定されている件について、資料により説明し、質疑応答を行った。

特に意見はなかった。

議題6 その他

事務局から、平成29年度第1回推進協議会について、4月28日（金）に開催することを説明した。